

令和4年8月29日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」 第68回(通算第147回)定例会 会議録

- ◆日 時：令和4年8月16日(火) PM7:05～8:15
◆場 所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室
◆出席者：21名 +オンライン 3名

別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19:05～20:15】

19:05～ 開 会

19:05～19:45 研修

「すさみ町における生活支援体制整備事業への取り組み」

～5年後、10年後を見据えた支えあい～

講師：すさみ町地域包括支援センター 富貴 安起氏

すさみ町社会福祉協議会 田中 大介氏

19:45～20:15 質疑応答

20:15 閉 会

【講義内容】

- ・高齢者を支える地域像(地域包括ケアシステムづくり)
→「なぜ」「誰が」「何を」「どこで」「いつ」「どうやって」
自助・互助・共助の考え方
- ・主なとりくみ
→自主防災組織：災害時の住民助け合いマップの作成・話し合い
移動サロン ふらっと：人があつまるところへ移動して実施。50円サロン(コーヒー50円)
フォーラム：つながるday in フォーラム
10月1日午後開催

- ・自主防災組織の取り組み
→災害時の住民助け合いマップ

<目的と活用>

災害時に支援が必要な方を把握し、支援できる人材を把握する
漠然とわかっているつもりの災害時の避難経路や避難場所をはっきりさせる
このマップを投資手、着くや日ごろの生活上の様々な問題が発見できる
地区の防災訓練や迅速な避難支援に活用する

- 防災アンケートの実施・地区での話し合い・要援護者への詳細な聞き取り・見守り側への訪問によるマッチングなど

- ・移動サロンふらっと

- コロナ禍により集まる機会が中止・減少
できる工夫を考えて、「喫茶」をテーマに、少人数、小さな範囲、集まる十町内の民間企業と一緒に活動にした

- ① 朝市横での喫茶
- ② 移動スーパー停留所での喫茶

- ・つながる Day in フォーラム

- 「つながる」をテーマに役場公民館と社協がイベントを企画、開催
内容:ワークショップ、活動展示、こども食堂など
目標:住民同士で支えあい(ちょっとした困りごとを手助けする有償ボランティア)による地域づくりに参画してもらえる人を把握する

日時:令和4年10月1日(土) 10~16時

場所:多世代交流施設 イコラ(旧周参見保育所)

フォーラム:カフェスペース 13~15時30分

トークセッション:さわやか福祉財団 高林 稔氏

地域活動の発表:すさみ子供食堂・江住小学校(みんなの教室)

寸劇「助け合い・支えあい」 劇団 我楽座 監修

支えあい動画の上映

- ・「地域づくり」の視点で、「支援が必要な人」と「支援できる人」をそれぞれ発見・把握し、つなげ、つながる関係性へ。

新しい発想と、新しいつながり方…その役割を担うのが生活支援コーディネーター。

【質疑応答】

- ・自主防災活動では、お年寄りを中心にして、いろいろな世代の結びつきをテーマにしているのがよい。

- ・難しかったところはどこか?

→すさみ町の地域の特性

話を持って行っても、リアクションが薄いところも。「やるよ」とすぐにつながりにくい

グイグイいくと長続きがむずかしくて、声掛けがむずかしい

リーダーシップをもってやってくれにくく。続けてやってくれる人をつくるのが大変

- ・地域の自主性がむずかしい。どこまで手をだすかは課題

- ・防災の担当部署との連携は?

→自身の住んでいる地域でまずは取り組んで、成功体験を得るように取り組んだ

まずは動いてみた。やりだしたら行政は協力してくれる

- ・移動サロンに参加した人の声を教えてほしい

→「ここへ来んかったら一日誰ともしゃべれへんかったわ」との声

「ひさしぶり」と知り合い同士

談笑の場

- ・体調確認と必要に応じて非接触型温度計による体温測定
- ・手指消毒・換気
- ・マスク着用
- ・ＺＯＯＭを活用したオンライン研修

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和4年9月20日（火） 午後7時～

場所：田辺市民総合センター 1F 機能訓練室

内容：私のしごとを知ってください 「訪問看護ステーションこころ」

研修 未定